

FLPAD

novation

FLpad ユーザーガイド

バージョン 1.0

目次

FLpad - はじめに 3
主な特徴 3
同梱品 4
トラブルシューティング 4
始めるには FLpad 5
FLpad の接続および電源供給 5
Easy Start 6
FLpad をアップデートする 7
FLpad ハードウェア概要 8
FLpad を FL Studio に接続する 11
インストール 11
FLpad のビューとナビゲーションについて理解する 13
FLpad のシーケンサー・ビューを使用する 15
FLpad のノート・ビュー 38
FLpad のカスタムモードを使用する 43
FLpad のパターン・ビューを使用する 45
FLpad のチャンネルラック・ビューを使用する 49
FLpad のチャンネルラック・ミキサー・ビューを使用する 51
FLpad のトランスポート / ワークフロー・ボタンを使用する 54
の [設定] メニュー 59
LED 設定 60
ベロシティ設定 62
アフタータッチ設定 63
フェーダー設定 65
ブートローダーメニュー 66
その他の情報 68
商標 68
免責事項 68
著作権および法定通知 68
FLpad クレジット 68

FLpad - はじめに

Image-Line とのコラボレーションによって生まれた FLpad は、素早く直感的にビートメイキングが行える FL Studio 専用コントローラーです。Channel Rack のサンプル・トリガー、最大 4 つのインストゥルメントの同時ステップシーケンス、ベロシティ・センシティブ対応パッドによるドラムやメロディの演奏、パターンの作成・編集などさまざまな操作を本体から直接行えます。

主な特徴

- **FL Studio 専用設計**
  チャンネルラックの操作、ドラムやメロディのシーケンス、リアルタイム演奏、パターンの作成などを本体から直接行えます。
- **チャンネルラックでビートを作成**
  64 個のベロシティ・センシティブ対応パッドでサンプルを直接選択・トリガーできます。
- **ステップシーケンサーでアイデアを形に**
  最大 4 つのインストゥルメントを同時に操作し、メロディ、ベースライン、ドラムパターンを素早く作成・編集できます。
- **リアルタイムのフィンガー・ドラミング**
  フィンガー・ドラミングに最適なベロシティ・センシティブ対応パッドを搭載。FPC、Slicex、Fruity Slicer 専用レイアウトも用意されています。
- **ベースライン、メロディ、コードを演奏**
  ノート・ビューでは、選択したスケールまたはクロマチックでメロディ楽器を演奏できます。
- **パターンでトラックを構築**
  FLpad からアイデアを直接形にできます。専用ビューを用いてパターンの作成、選択、削除、複製が簡単に行えます。
- **FLpad からノートを直接編集**
  本体のパッドから FL Studio のグラフエディターを直接操作できます。
- **チャンネルラック・ミキサーのコントロール**
  FLpad のグリッドにチャンネルラック・ミキサー・モードのフェーダーを表示できます。
- **専用のトランスポート・コントロール**
  再生、停止、録音、アンドゥなど、さまざまな操作を FLpad のボタンから直接行えます。
- **カスタマイズも思いのまま**
  Novation Components で FL Studio 専用のカスタムレイアウトを簡単に作成。その他のソフトウェアやハードウェアのコントロール・レイアウトも作成可能です。

同梱品

- Novation FLpad
- USB-C to A cable
- 安全に関する重要な注意事項

トラブルシューティング

FLpad を使い始めるためのヘルプが必要な場合は、こちらをご参照ください：

novationmusic.com/get-started

FLpad に関して不明な点がある場合には、いつでもヘルプセンターをご利用いただけます。また、以下の URL からサポートチームにお問い合わせいただくことも可能です：

support.novationmusic.com

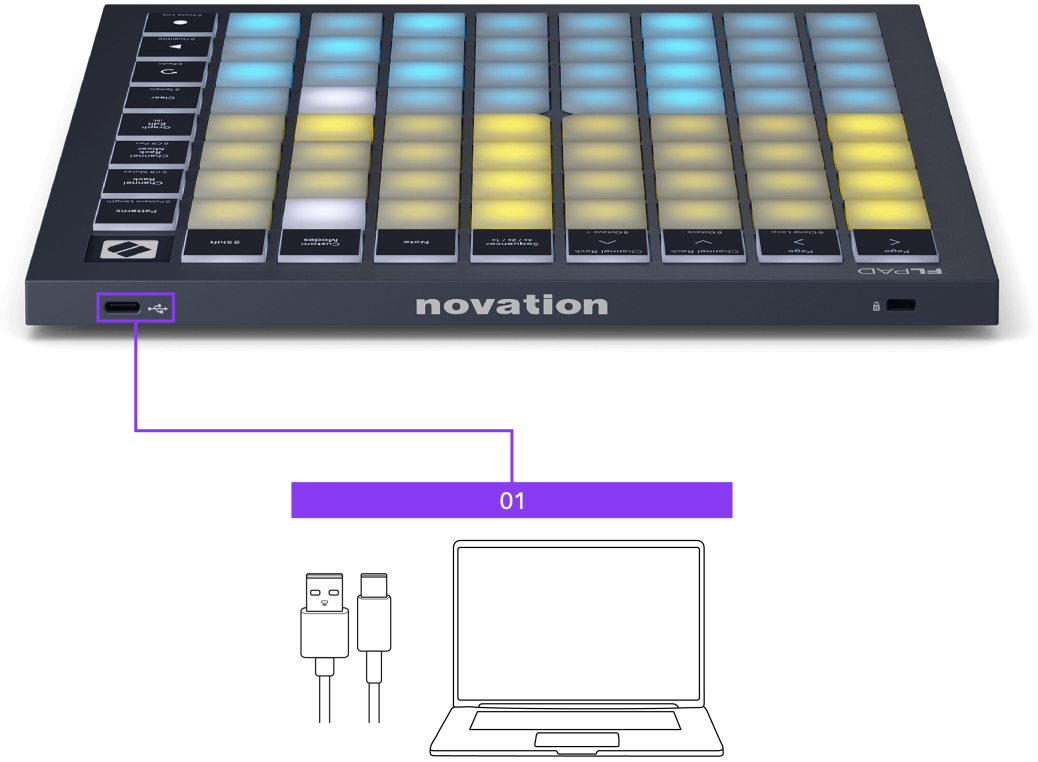
FLpad を最新の状態に保つため、アップデートの有無を確認することをお勧めします。アップデートを行うことで最新の機能やバグフィックスが適用されます。FLpad のファームウェアをアップデートするには、Components を使用する必要があります：

components.novationmusic.com

始めるには FLpad

FLpad の接続および電源供給

FLpad は USB バスパワーに対応します。USB-C to USB-A ケーブルでコンピュータに接続すると、本体の電源がオンになります。

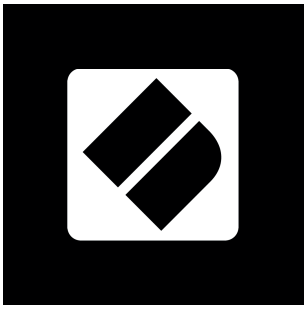


Easy Start

Easy Start は、FLpad のセットアップを手順に沿って案内し、FLpad の使用方法に応じてカスタマイズされたチュートリアルを提供します。また、FLpad の製品登録やバンドル・ソフトウェアへのアクセスも案内します。

Windows または Mac に FLpad を接続すると、本体が USB ドライブのような大容量記憶装置としてマウントされます。ドライブを開き、「Click Here To Get Started.url」をダブルクリックします。「Get Started」をクリックすると、Easy Start がウェブブラウザで開かれます。

Easy Start が開いたら、手順に沿って FLpad のインストールと使用準備を行います。



Easy Start ツールを使用しない場合は、ウェブサイトにアクセスして FLpad の製品登録とバンドル・ソフトウェアへのアクセスを手動で行うことも可能です。

id.focusritegroup.com/register

重要

Easy Start を使用するかどうかに関わらず、FLpad を最初に接続する際はファームウェアをアップデートすることが非常に重要です。

FLpad のファームウェアをアップデートしないと、多くの機能が動作しない可能性があります。

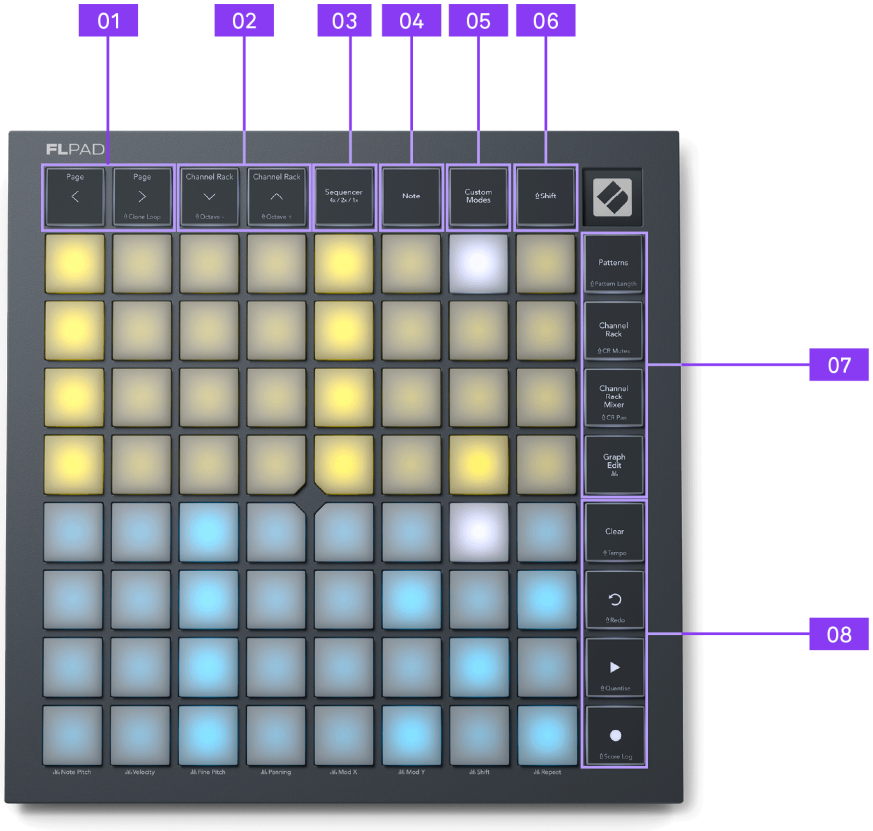
FLpad のファームウェアをアップデートするには、Novation Components を使用する必要があります。components.novationmusic.com にアクセスし、ファームウェアをアップデートしてください。

FLpad をアップデートする

FLpad のファームウェアは、 Novation Components でアップデートできます。ファームウェアバージョンの確認とアップデートは、以下の手順で行います：

1. components.novationmusic.com にアクセスします。
2. FLpad をクリックします。
3. ページ上部の **Updates** タブをクリックします。
4. 画面の指示に従いファームウェアのバージョン確認を行います。アップデートが必要な場合は、アップデート方法が表示されます。

FLpad ハードウェア概要



1. **Page ◀ ▶** 左右ボタン – シーケンス内のステップを左右に移動します。
   Clone Loop – パターンの長さと MIDI データを複製します。
2. **Channel Rack ▲▼** 上下ボタン – チャンネルラック内で、FLpad のパッドを切り替えます。
   Octave -/+ ボタン – Shift ボタンを押しながら Channel Rack ボタンを押すと、ノートモードのパッド表示をオクターブ単位で切り替えることができます。
3. **Sequencer 4x / 2x / 1x** ボタン – パッドに表示するシーケンスを、4 チャンネル、2 チャンネル、1 チャンネルから選択できます。表示するチャンネル数を少なくするほど、より多くのシーケンス・ステップを確認できます。
4. **Note** ボタン – FLpad のパッドをノート・ビューに切り替えます。
5. **Custom Modes** ボタン – 4 つのカスタムモードを順番に切り替えます。
6. **Shift** ボタン – 各ボタンの二次機能にアクセスできます。利用できる二次機能は、グレーのテキストで各ボタンに記載されています。Shift ビューでは、選択中のボタンが白く点滅します。

7. パフォーマンス・ビュー・ボタン：
    - **Patterns** ボタン – すべてのパターンを一括表示し、グリッドパッドでパターンを切り替えることができます。

      Pattern Length – 現在のパターンのシーケンスの長さを表示・設定します。
    - **Channel Rack** ボタン – チャンネルラックのインストゥルメントを変更し、シーケンスを素早く編集できます。

      CR Mutes – チャンネルラックのインストゥルメントのミュート・オン/オフをすばやく切り替えられます。
    - **Channel Mixer** ボタン – チャンネルラックのインストゥルメントのボリュームを調整します。

      CR Pan – チャンネルラックのインストゥルメントのパンを変更します。
    - **Graph Edit** ボタン – シーケンス内のグラフエディタのパラメーターをステップ毎に変更できます。
8. トランスポートおよびワークフロー・ボタン：
    - **Clear** ボタン – 簡単なボタン操作で、ステップ、パターン、シーケンスを削除できます。

      Tempo – FL Studio のテンポ（BPM）およびスイング値を変更します。
    - Undo ボタン – DAW のアンドゥ機能を実行します。

      Redo – Shift ボタンを押しながら Undo ボタンを押すと、リドゥ機能を実行できます。
    - 再生ボタン – FL Studio を再生します。

      Quantise – FL Studio のクオンタイズ機能を実行し、ノートをグリッドにスナップ（吸着）させます。
    - 録音ボタン – FL Studio を録音待機状態にします。リアルタイム演奏を録音する際に使用します。

      Score Log – 直前に入力された MIDI ノートを復元します。アイデアを逃さず形にできる便利な機能です。



9. **USB** ポート - USB Type-C ポート。データの送受信および、FLpad への電源供給を行います。
10. 🔒 - ケンジントンロック。FLpad を固定し、盗難から守ります。

FLpad を FL Studio に接続する

FLpad は FL Studio とシームレスに連携するように設計されており、シーケンサーを直感的に操作可能です。またカスタムモードを使うことで、ワークフローに合わせて FLpad を好みにカスタマイズすることもできます。

インストール

FLpad を使用する前に、ファームウェアが最新版であることをご確認下さい。アップデートの手順は、ページ「FLkey をアップデートする [7]」をご参照ください。

FLpad は、FL Studio バージョン 2026 以降に対応しています。FLpad をコンピュータに接続した状態で FL Studio を開くと、FLpad が自動的に検出され、FL Studio の MIDI 設定にセットアップされます。

手動による設定



注記

通常は、FL Studio が FLpad を自動的に認識します。FLpad が認識されない場合は、以下をご確認ください。

問題が解決しない場合は、以下をご確認ください。

- FL Studio が最新バージョンであること。
- Novation Components で FLpad のファームウェアが最新版に更新されていること。

FL Studio の MIDI **設定**ウィンドウ（ Options> 設定 > MIDI ）を開き、以下のスクリーンショットと同様に設定されていることを確認します。MIDI 設定は、次ページの手順に従い手動で行うこともできます。

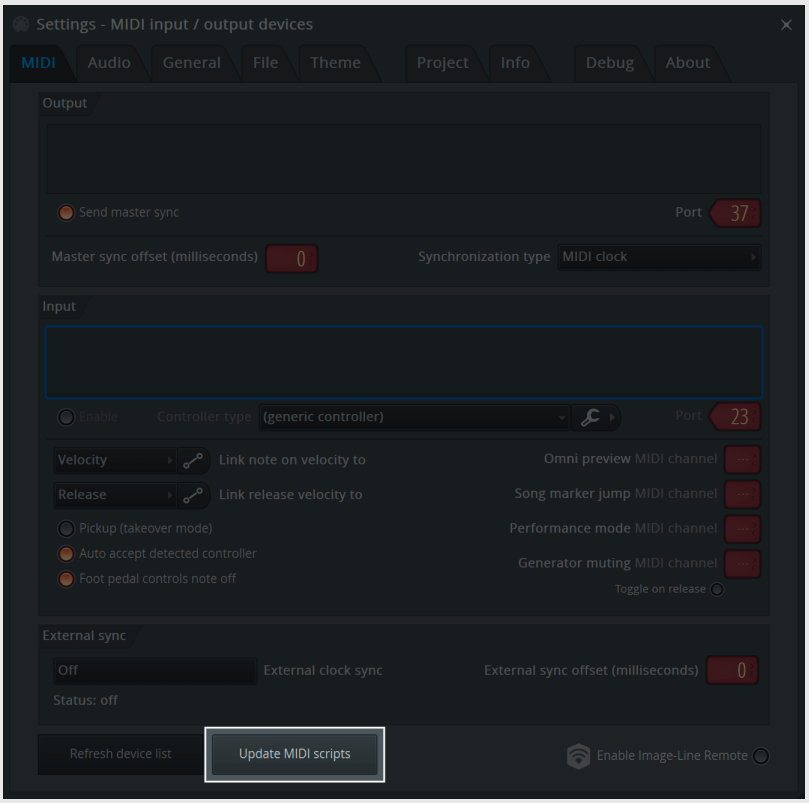
手動による設定方法

1. 「MIDI 設定」画面下部の「**入力**」パネルにある FLpad MIDI および DAW の入力ポートを有効にします。
    - FLpad MIDI Out
    - FLpad DAW Out（Windows では MIDIIN2 と表示）
2. 各項目をクリックし、下部の「**Port**」アイコンでそれぞれ異なるポート番号を設定します。
    - ポート番号は、未使用の任意の番号を使用できます。
    - MIDI ポートと DAW ポートで異なるポート番号を設定してください。
3. 各項目を選択し、スクリプトを割り当てます。
    - MIDI 入力をクリックし、「**Controller type**」ドロップダウンメニューから「FLpad MIDI」を選択します。
    - DAW 入力をクリックし、「**Controller type**」ドロップダウンメニューから「FLpad DAW」を選択します。
4. 「MIDI 設定」画面上部の「**出力**」パネルにある出力ポートをクリックし、「**Port**」番号を入力と一致するように設定します。
    - FLpad MIDI In
    - FLpad DAW In（Windows では MIDIOUT2 と表示）
    - 手順 3 で選択したスクリプトが自動的にリンクされます。
5. DAW 出力（上部パネル）を選択し、「**Send master sync**」を有効にします。
6. 画面下部にある「**ピックアップ (引き継ぎモード)**」を有効にします。
7. 画面左下にある「デバイス一覧の更新」をクリックします。

FLPAD が MIDI 設定に表示されない場合

FLpad 用のスクリプトが FL Studio の MIDI 設定内に表示されない場合は、MIDI スクリプトを更新することで表示される場合があります。

MIDI スクリプトを更新するには、MIDI 設定ウインドウ下部にある「MIDI スクリプト更新」をクリックします。



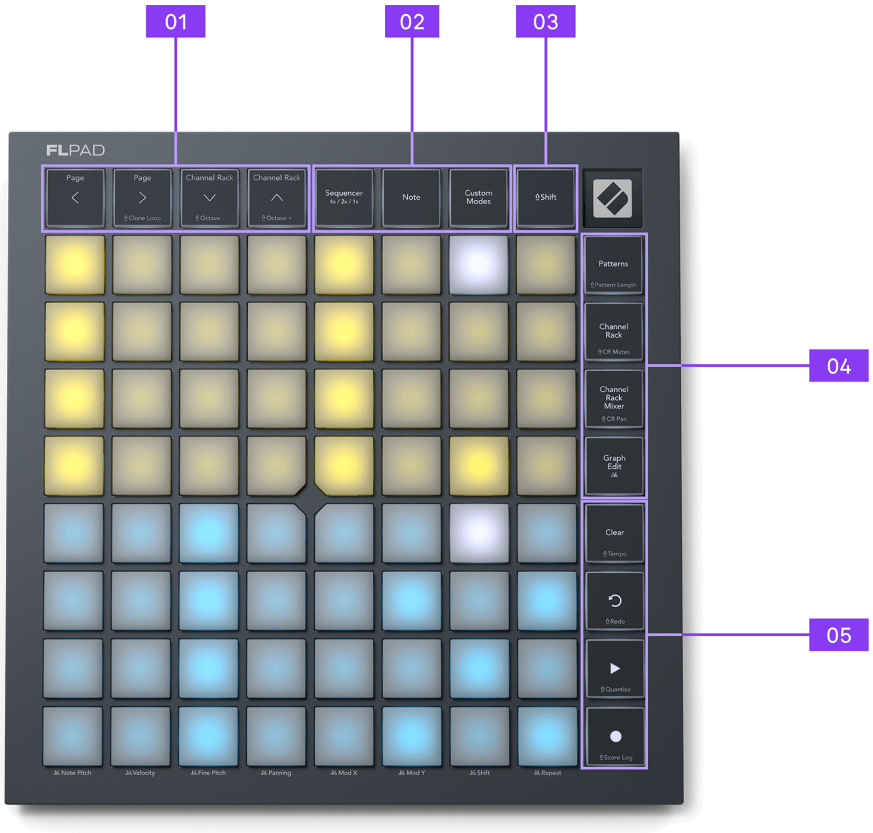
FLpad のビューとナビゲーションについて理解する

FLpad では、複数の「ビュー」を中心に操作を行います。ビューを切り替えることで、FL Studio の各ウインドウをさまざまな方法で操作できます。

パッド周囲には、以下のボタンが配置されています。

1. ナビゲーション・ボタン
2. FL Studio のメイン・ビューの各機能：シーケンサー、ノート、カスタムモード
3. Shift ボタン — 二次機能を持つ一部のボタンで Shift ビューを呼び出す際に使用します。
4. FLpad のメイン・ビューのその他の機能：パターン、チャンネルラック、チャンネルラック・ミキサー、グラフエディタ

5. ワークフロー・ボタン：Clear、アンドゥ/リドゥ、再生、録音



FLpad の周囲に配置されたボタンを押すことで、各ビューが表示されます。ボタンには、対応するビュー名が記載されています。

パッド周囲のボタンから、FL Studio の主要なビューにアクセスできます。

ビュー	説明
シーケンサー	最大 4 つのチャンネルラック・インストゥルメントのステップシーケンサーが表示され、ステップの追加 / 削除が行なえます。 FLpad のシーケンサー・ビューでは、4 つのサブビューを切り替えられます。
ノート (Note ボタン)	パッドを表示し、ノートを送信します。ドラムやクロマチックレイアウトのほか、ノートモードのスケール設定でカスタマイズしたスケールレイアウトも表示できます。 ノートモードのスケール設定は、Shift ボタンを押しながら Note ボタンを押すことでアクセスできます。
カスタムモード (Custom Modes ボタン)	4 つのカスタムモードでは、パッドが送信するデータを自由に設定できます。カスタムモードは、Novation Components で作成します。 Custom Modes ボタンを押すことで、表示されるカスタムモードを順番に切り替えることができます。
パターン (Pattern ボタン)	プロジェクト内のパターンが表示され、パターンの切り替えや新規パターンの作成が行なえます。 Shift を押しながら Pattern ボタンを押すと、パターンの長さを設定できます。
チャンネルラックおよびチャンネルラックのミュート (Channel Rack ボタン)	パッドグリッド下半分のエリア (32 パッド) に、選択中のチャンネルラック・インストゥルメントが表示され、利用可能なインストゥルメントの確認 / 変更が行なえます。上半分の 32 パッドには、インストゥルメントのシーケンスが最大 32 ステップまで表示されます。 チャンネルラック・ミュート・ビューでは、下半分の 32 パッドで各チャンネルラック・インストゥルメントのミュートのオン / オフを設定できます。
チャンネルラック・ミキサーおよびチャンネルラック・パン(Channel Rack Mixer ボタン)	選択中のチャンネルラック・インストゥルメント・バンクのボリュームフェーダーまたはパンをパッド上に表示します。
グラフエディタ (Graph Edit ボタン)	上半分の 32 パッドに、選択中のチャンネルラック・インストゥルメントのシーケンサー・ステップが表示されます。下半分の 32 パッドにて、各ステップのグラフエディタ設定を変更できます。
テンポ・ビュー (Tempo ボタン)	Shift を押しながら Clear ボタンを押すと、テンポ・ビューが表示されます。Channel Rack ^ および Channel Rack ˅ を用いて FL Studio のテンポ (BPM) を調整でき、8 列目のパッドではチャンネルラックのメインスイングを設定できます。

FLpad のシーケンサー・ビューを使用する

FLpad のシーケンサー・ビューでは、チャンネルラックのステップシーケンサーを操作でき、FL Studio のパターンにノートやドラムをすばやく入力・確認できます。複数の表示・入力方法が用意されており、それらを切り替えることで、FLpad からビートやトラックを素早く作成・編集できます。

パッドに表示されるシーケンスは、FL Studio のチャンネルと同じ色で点灯します。

ノートが登録されているステップはパッドが明るく点灯し、空のステップは薄く点灯します。

シーケンサー・レイアウトを変更する

FLpad のシーケンサー・ビューでは、同時に表示するチャンネル数に応じて、4x、2x、1x の 3 種類のレイアウトを選択できます。表示するチャンネル数を少なくするほど、1 チャンネルあたりに使えるパッド数が増え、より多くのステップを表示できます。Sequencer 4x/2x/1x ボタンを押すたびに、レイアウトを順番に切り替えられます。



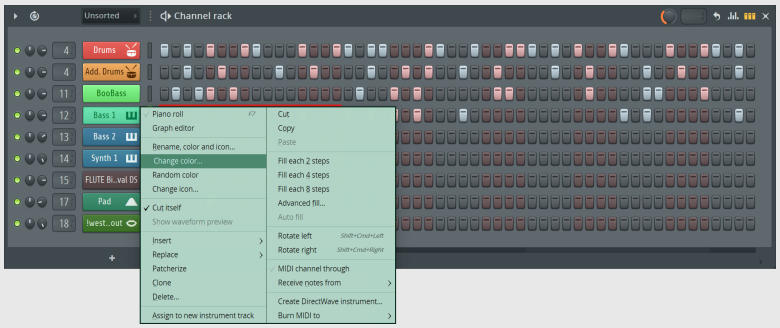
Sequencer 4x/2x/1x ボタンを押すと、シーケンサー・レイアウトが順番に切り替わります。

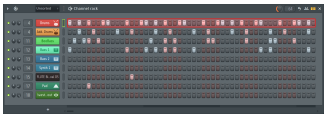
- 4x：4 チャンネルを同時に表示し、各チャンネルが 16 ステップで表示されます。このレイアウトは、FLpad の他のビューでも使用されます。
- 2x：2 チャンネルを同時に表示し、各チャンネルを最大 32 ステップまで表示できます。
- 1x：1 チャンネルを表示し、最大 64 ステップまでシーケンスを表示できます。

ヒント

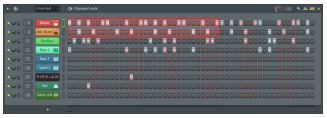
チャンネルラックの表示色を好みの色に変更することで、シーケンサー・ビューでどのチャンネルのシーケンスが表示されているかを確認しやすくなります。

チャンネルラックの色を変更するには、チャンネル名を右クリックし、「色の変更」または「ランダム配色」を選択します。

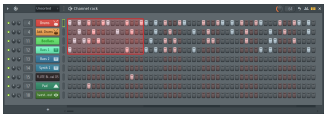




Sequencer 1x ビューでは、チャンネルラックの 1 つのチャンネルが赤い枠で囲われ、パッドで最大 64 ステップが操作できることを示します。



Sequencer 2x ビューでは、チャンネルラックの 2 つのチャンネルが赤い枠で囲われ、パッドでそれぞれ最大 32 ステップが操作できることを示します。



Sequencer 4x ビューでは、チャンネルラックの 4 つのチャンネルが赤い枠で囲われ、パッドでそれぞれ最大 16 ステップが操作できることを示します。



Sequencer 1x ビューでは、チャンネルラックの 1 つのチャンネルのシーケンサーが最大 64 ステップ表示されます。



Sequencer 2x ビューでは、チャンネルラックの 2 つのチャンネルのシーケンサーがそれぞれ最大 32 ステップ表示されます。



Sequencer 4x ビューでは、チャンネルラックの 1 つのチャンネルのシーケンサーが最大 16 ステップ表示されます。

注記

各シーケンサー・レイアウトでは、利用可能な最大数までステップをパッドに表示できます。シーケンスの長さがそのレイアウトの最大ステップ数より短い場合、シーケンス範囲外のステップは空白で表示されます。

たとえば Sequencer 4x ビューでパターンの長さが 8 ステップの場合、各チャンネルの残り 8 ステップに該当するパッドは空白で表示されます。

再生の開始

どのシーケンサー・ビューでも、FLpad の再生ボタンは利用可能な状態になると緑色に点灯します。再生ボタンを押すことで、FL Studio のステップ・シーケンサーを再生 / 停止させることができます。



再生ボタンを押すと、ステップ・シーケンサーが先頭から再生を開始します。再生中、アクティブなステップは白く点灯します。

再生 / 停止は FL Studio 側でも操作可能です (再生ボタンまたはスペースキー)。

ノートの追加と削除

ステップ・シーケンサー内のノートは、以下の 3 種類の方法で追加できます。

- 再生または停止中にシーケンス内の目的のパッドをタップする。
- シーケンスを再生しながらノート・ビューを表示し、リアルタイムに演奏する。
- 演奏ログ機能を使用し、ノート・ビューで直前に行った未録音の演奏を、演奏データとして復元する。

ステップ・シーケンサーにノートを追加する

FLpad のグリッド上で薄く点灯するパッドをタップすると、シーケンスにノートを追加できます。



ノートが登録されているステップはパッドが明るく点灯し、空のステップは薄く点灯します。

シーケンスの再生中でも停止中でも、パッドを使いノートを追加できます。FL Studio 上でマウスや MIDI 機器を使って追加したノートも、FLpad のシーケンサー・ビューにリアルタイムで反映されます。

シーケンスにノートを録音する

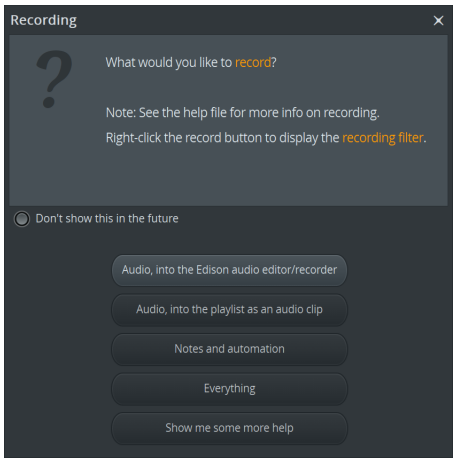
再生中のステップ・シーケンサーにノートを録音することができます。

ステップ・シーケンサーにノートを録音するには：

1. 録音ボタンを押します — 録音ボタンが赤色に明るく点灯します。



FL Studio でレコーディング・ウインドウが表示された場合は、録音する項目を選択します。FLpad から MIDI データのみを録音するには、「ノートとオートメーション」を選択します。ヘルプが必要な場合は、「ヘルプを表示して確認したい」を選択してください。



FL Studio が録音待機状態になります。

2. 再生ボタンを押します — 再生ボタンが緑色に明るく点灯し、アクティブなステップがシーケンス内を移動し始めます。



再生ボタンは、FLpad または FL Studio のいずれからも利用でき、再生を開始できます。

3. Note ボタンを押してノート・ビューを開きます。



4. パッドでノートを演奏します。演奏したすべてのノートが、シーケンスに録音されます。FLpad のノート・ビュー、または MIDI 鍵盤などの MIDI 機器でノートを演奏でき、演奏した MIDI データは FL Studio に送信されます。
5. 録音の停止は、以下のいずれかで行います。
    - 再生ボタンを押すと、シーケンスの再生と録音が停止します。
    - 録音ボタンを押すと、録音が停止します。シーケンスは停止せず、再生を続けます。



パンチイン / アウト

録音を開始するためにシーケンスを止める必要はありません。再生中にアイデアが浮かんだら、録音ボタンを押してそのまま演奏を開始し、演奏が終わったら録音ボタンを再び押すことで、「パンチイン / アウト」録音を行うことができます。

演奏ログ機能でシーケンスにノートを追加する

Score Log ボタンを押すと、FL Studio が直前の 5 分間に受信したすべての MIDI ノートが選択中のパターンに挿入されます。パターン内に既にノートデータが存在する場合は、既存のノートを上書きするかを確認するメッセージが表示されます。

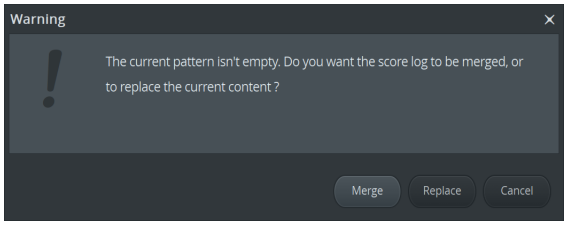
このボタンでは、FL Studio のメニュー「Tools > MIDI 鍵盤の演奏ログ>選択したパターンに貼り付ける」と同等の動作が実行されます。

演奏ログ機能を使用するには

1. Note ボタンを押してノートモードを有効にします。
2. シーケンスに追加したいノートを演奏します。
3. Shift を押しながら録音（Score Log）ボタンを押します。



選択中のチャンネルにすでにノートが記録されている場合は、FL Studio で警告ダイアログが表示されます。既存のノートデータに演奏ログのデータを追加する場合は「結合」、演奏ログのデータで上書きしたい場合は「入れ替え」を選択します。



4. 演奏ログのデータを「結合（Merge）」または「入れ替え（Replace）」します。

FL Studio の演奏ログ機能は、直前 5 分間に演奏したノートデータを、対応するチャンネルのシーケンスに追加します。複数のチャンネルの演奏データを同時に追加することも可能です。

シーケンサーでノートをクオンタイズする

クオンタイズは、ノートを最も近いグリッド位置にスナップし、タイミングのずれを補正する機能です。グリッドに正確な機械的な演奏に仕上げたい場合に便利ですが、あえてクオンタイズせず、より人間的なグルーブを残すこともできます。

Quantise ボタンを押すと、FL Studio は 「quick Quantise start times」 機能を実行し、選択中の Channel Rack チャンネルのピアノロールに含まれるすべてのノートの開始位置を、ピアノロールで設定されているスナップ位置にクオンタイズします。

FLpad からクオンタイズを実行するには：

1. Shift ボタンを押します。
2. Shift ボタンを押しながら再生 (Qutantise) ボタンを押します。



選択中のチャンネルのすべてのノートの開始位置が最も近いグリッドにスナップされます。

Undo/Redo



FLpad のアンドゥおよびリドゥボタンを押すと、FL Studio のアンドゥ/リドゥ機能が実行されます。FL Studio の「Alternate undo mode」設定は、これらのボタンの動作に影響しません。

アンドゥボタンを押すとアンドゥ機能が、Shift ボタンを押しながらアンドゥボタンを押すとリドゥ機能が実行されます。

パターンの長さを延長する

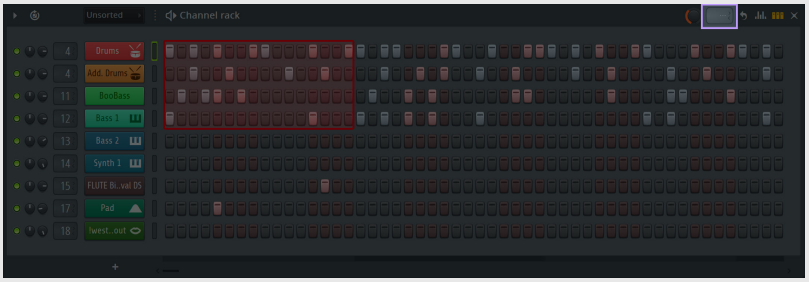
FLpad のシーケンサー・ビューでは、パターンの長さを 16 ステップ以上に延長することができます。操作方法は以下の通りです。

1. Sequencer 2x ビューではパッド上に 32 ステップ、1x ビューでは 64 ステップを表示できます。パターンの上限を超える位置にステップを追加すると、パターンの長さが 16 ステップ単位で自動的に延長されます。
2. Sequencer 4x ビューでは、Page > 右ボタンでパターンの後方へ移動できます。現在のパターンの長さを超える位置にノートを追加すると、パターンの長さは自動的に 16 ステップ単位で延長されます。

シーケンスは、16 ステップ単位で延長されます。たとえば、32 ステップのシーケンスで 38 ステップ目にノートを追加すると、パターンの長さは 48 ステップになります。これは FL Studio の通常の動作です。

注記

ただし、パターンの長さを手動で設定している場合は、この方法でシーケンスを延長できません。シーケンスの追加に合わせて自動的に長さを延長するには、チャンネルラック右上の「パターンの長さ」設定をリセットしてください。



パターンの長さを設定する

FLpad では、シーケンスのステップ数、つまりパターンの長さを本体から設定できます。

パターンの長さを設定するには：

1. Shift ボタンを押しながら Patterns ボタン（Pattern Length とも記載）を押します。
   Patterns ボタンが点滅し、Pattern Length 機能が有効になったことを示します。パターンの長さがパッド上に数字で表示されます（8、16、32、64 ステップ）。



   左下の 3 番目のパッドが選択されており、パッドにはパターンの長さが 32 ステップに設定されていることが表示されます。

2. 左下の 4 つパッドを押すことで、パターンの長さを 8、16、32、64 ステップのいずれかに設定できます。
   パターンの長さは、Channel Rack ˄および Channel Rack ˅ ボタンでも変更可能です。



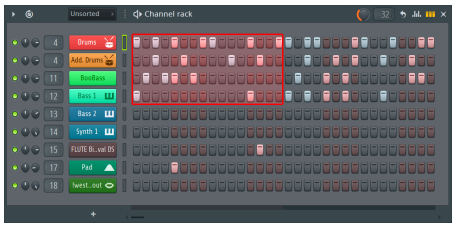
3. 他のビューボタンを押すと、パターンの長さ設定を終了します。

チャンネルラック・シーケンサーのナビゲーション

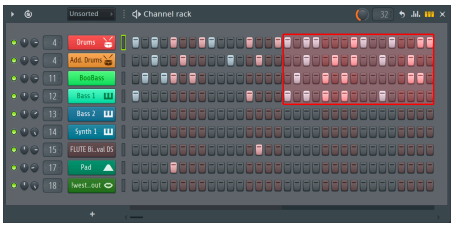
Sequencer 4x、2x 、1x のすべてのビューでは、FLpad のページ・ナビゲーション・ボタンを使って、シーケンス内を移動できます。



Sequence 4x ビューでは、FLpad 上に 4 チャンネル分のシーケンスが表示されるため、32 ステップのシーケンスは一度に 16 ステップまで表示されます。Page ボタンを使うことで、残りのステップを表示できます。Page > (右) ボタンを押すとシーケンスの後半へ、Page < (左) ボタンを押すとシーケンスの先頭側にビューが移動します。



Sequencer 4x の初期表示位置。パッド上にステップ 1 ~ 16 が表示。



Sequencer 4x で Page ボタンを押すと、パッド上にステップ 17 ~ 32 が表示。

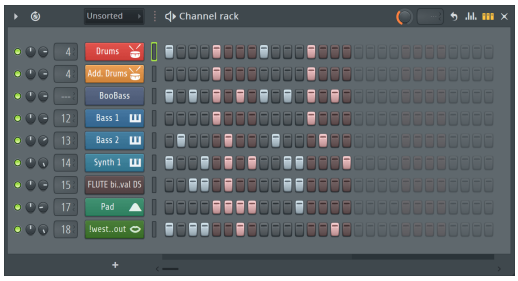
Page ボタンは、シーケンス内を移動できる方向に応じて点灯します。Page <ボタンが暗く点灯する場合はシーケンスの先頭、Page >ボタンが暗く点灯する場合は最大長の 512 ステップに達していることを示します。

シーケンスのループを複製する

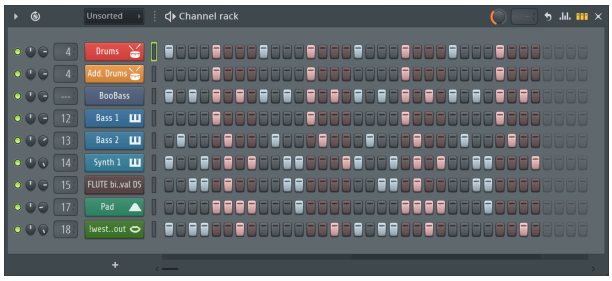
クローンループ機能を使うと、現在のパターンの長さを 2 倍にし、ノートのコピーを作成できます。これにより、より長く、繰り返しの多いパターンやビートをより迅速に作成できます。

クローンループを使用するには、クローンしたいループに移動し、Shift キーを押しながらクローンループ（ページ > ）ボタンを押します。

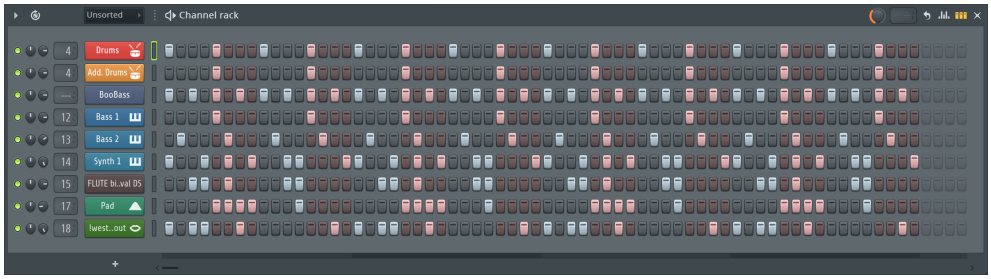
ループが 16 ステップの場合、クローンループを有効にすると、16 ステップは 32 ステップになります。さらに、クローンループを有効にすると、32 ステップは 64 ステップになります。32 ステップのループに変更を加えると、その変更は 64 ステップのループにも適用されます。



元のループは 16 ステップです。



32 ステップ、元のループの複製版。

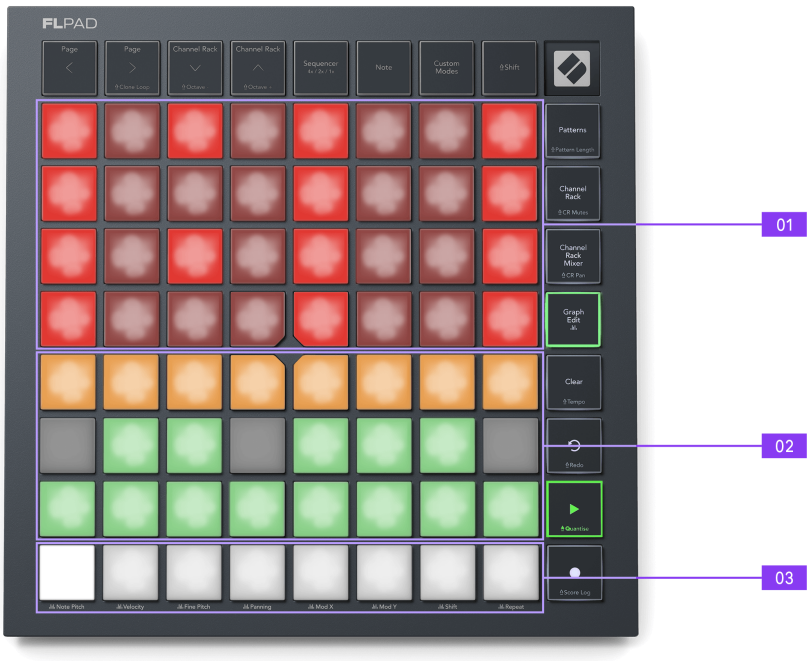


64 ステップ。32 ステップのパターンを複製したもの。

グラフエディタ・ビューでシーケンサーのステップを編集する

グラフエディタ・ビューでは、FLpad からシーケンスの各ステップ設定を変更できます。

グラフエディタ・ビューを開くと、FLpad のグリッドが 3 つのエリアに分割されます。



1. 1~4 行目のパッドには、選択中のビューの 32 ステップが表示されます。
2. 5~7 行目のパッドには、現在のグラフエディタのパラメーター値が表示され、値を変更できます。

   5~7 行目のパッド表示は、編集中のグラフエディタ· パラメーターに応じて自動的に変化します。詳細は、グラフエディタ· パラメーターの章をご参照ください。
3. 8 行目のパッドでは、グラフエディタのパラメーターを選択できます。選択できるパラメーター名は、各パッド下部に記載されています。

グラフエディタ・パラメーター



1. Note Pitch [34]
2. Velocity [34]
3. Fine Pitch [35]
4. Panning [36]
5. Mod X [36]
6. Mod Y [36]
7. Shift [37]
8. Repeat [37]

各ステップのグラフエディタ・パラメーターを編集するには：

1. Graph Edit ボタンを押してグラフエディタを開きます。
2. 8 行目のパッドで、編集したいグラフエディタ・パラメーターを選択します。
   選択したパラメーターに応じて、5～7 行目のパッドが変化します。
3. 1～4 行目のパッドで、変更したいステップを選択します。複数のステップ選択も可能です。
   グラフエディタ・ビューでは、ノートが入力されているステップのみを編集でき、パッドの点灯によってステップの状態を確認できます。暗いパッドはノートなし、中間の明るさのパッドはノートあり、白く点灯するパッドは現在編集中のステップを示します。
4. 5～7 行目のパッドで、選択中のステップのグラフエディタ・パラメーターを変更します。グラフエディタ・パラメーターによって、使用するパッドの行数は異なります。
5. ステップをもう一度押すと選択が解除され、編集を終了できます。

ステップのノートピッチを変更する

Note Pitch は、選択中のステップの MIDI ノートを変更します。複数のステップを選択した状態でピッチを設定すると、選択したすべてのステップのノートに反映されます。

ノートピッチ・ビューでは、パッドが 3 行使用されます。

- 5 行目はオレンジ色に点灯し、左から右に向かってクロマチック・キーボードの音程を設定します。
- 6～7 行目のパッドには、クロマチック・キーボード (C から 1 つ上の C まで) が表示されます。

ステップにノートを割り当てると、該当するノートがクロマチック・キーボードで点灯します。ノートが異なる複数のステップを選択した場合は、パッドは点灯しません。クロマチック・キーボードでノートを選択すると、選択中のすべてのステップにそのノートが割り当てられます。

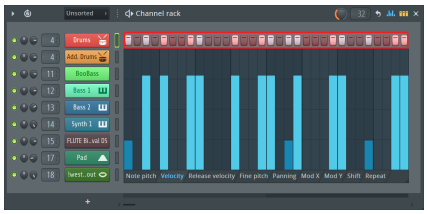




ステップのベロシティを変更する

Velocity は、選択中のステップの MIDI ベロシティを変更します。複数のステップを選択した状態でベロシティを設定すると、選択中のすべてのステップに同じベロシティ値が適用されます。

Velocity ビューでは、6 行目と 7 行目のパッドでステップのベロシティを設定します。左上のパッドが 3%、右下のパッドが 100%のベロシティ値を示します。





点灯するパッド	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
ステップ・ベロシティ	7	15	23	31	39	47	55	63	71	79	87	95	103	111	119	127

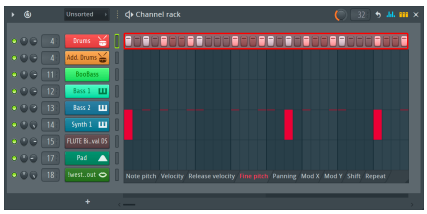
ステップのピッチを微調整する

Fine Pitch では、編集中のステップのピッチをセント単位で微調整します。複数のステップを選択して Fine Pitch を設定すると、選択したすべてのステップに同じ Fine Pitch 値が適用されます。

Fine Pitch はバイポーラー・コントロールです。デフォルト値の±0 セントが中央にあり、右側のパッドで Fine Pitch を上がり、左側のパッドで下がります。

Fine Pitch を±0 セントにリセットするには、中央の 2 つのパッドを同時に押します。

Fine Pitch は-1200 セント ~ +1200 セントの範囲で設定でき、上下 1 オクターブの範囲を調整できます。





セントとは？

西洋音楽理論では、ノート / ピッチ間の距離 (C と C#など) を半音と呼び、1 半音は 100 セントと決められています。Fine Pitch を使うことで、西洋音楽の 12 平均律で使われる音程の間のピッチを設定することもできます。

たとえば、2 つの音のちょうど中間は、それぞれの音から 50 セントの位置になります。これにより、一般的なピアノの鍵盤にはない、中間の音程のピッチを作ることができます。

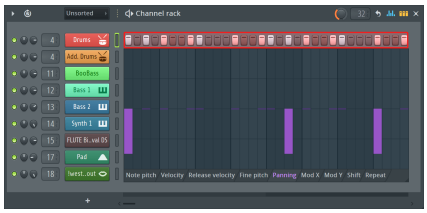
西洋音楽の基準から少しだけピッチをずらして人間味のある響きにしたり、音に厚みを加えたり、非西洋的なマイクロトーナル・サウンドを作ることも可能です。

ステップのパンニングを調整する

Panning では、各ステップのステレオ・パンニングを変更します。複数のステップを選択した状態でパンを設定すると、選択したすべてのステップに同じパン値が適用されます。

Panning はバイポーラー・コントロールです。デフォルトでは中央に定位し、左側のパッドで左へ、右側のパッドで右へパンニングが変更されます。

パンを中央にリセットするには、中央の 2 つのパッドを同時に押します。



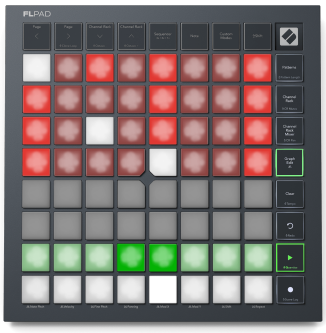


Mod X / Mod Y を設定する

Mod X および Mod Y は、グラフエディタ・メニュー内の独立した 2 つのパラメーターです。いずれも現在のインストゥルメントの Mod コントロールに対応します。通常、Mod X はフィルターのカットオフ、Mod Y はフィルターのレゾナンスをコントロールします。Mod X と Mod Y がどの Mod コントロールに作用するかは、インストゥルメントのプラグイン・オプションで変更できます (詳しくは FL Studio のユーザーガイドを参照してください)。

複数のステップを選択した状態で Mod 値を設定すると、選択したすべてのステップに同じ Mod 値が適用されます。

Mod X および Mod Y は、いずれもバイポーラー・コントロールです。デフォルトでは中央の±0 となり、左右側のパッドで Mod 値を増減します。



Mod X は緑色に点灯します。

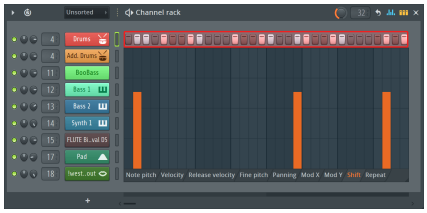


Mod Y は黄色に点灯します。

ステップのシフトを調整する

Shift では、ステップのノート開始タイミングのオフセットを変更します。Shift 値を大きくするにつれ、ノートの発音タイミングがステップより後ろに移動します。

Shift ビューでは、7 行目のパッドを使って、次の拍に対して 87%まで、8 段階で Shift 量を設定できます。

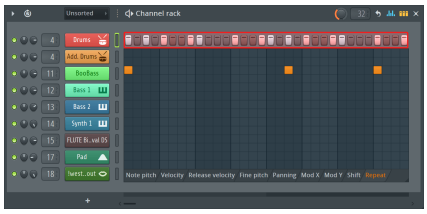




ステップ・リピートを編集する

選択中のステップのリトリガーを設定します。複数のステップを選択してリピートを設定すると、選択したすべてのステップに同じリピート値が適用されます。

7 行目のパッドでリピートを設定します。一番左のパッドのみが点灯している場合はリピートなし、すべてのパッドが点灯している場合は最大のリピートが適用されます。





点灯するパッド	1	2	3	4	5	6	7	8
リピート	リピートなし	1/32 dotted	1/16 triplet	1/32 half-step	1/64 dotted	1/32 triplet	1/64 (quarter step)	1/64 triplet

FLpad のノート・ビュー

ノート・ビューでは、FLpad のパッドで MIDI ノートを送信し、FL Studio の音程楽器やドラムを演奏できます。

ノート・ビューにはレイアウトが複数あり、使用するチャンネルラックの種類や目的に応じてレイアウトを切り替えて使用できます。

- クロマチックおよびスケール・レイアウト – シンセサイザー、ピアノ、ストリングスなどの音程楽器を演奏するのに最適なパッド配列です。
- FPC レイアウト – 4 × 4 のグリッド状にノートが配置されます。ドラムの演奏に最適で、FL Studio の FPC インストゥルメントのパッド配列にも対応しています。
- Fruity Slicer – Fruity Slicer サンプルが割り当てられたパッド配列です。
- Slicex – Slicex サンプルが割り当てられたパッド配列です。

Shift ボタンを押しながら Channel Rack ˄（上）および Channel Rack ˅（下）を押すと、現在のビューのオクターブを上下に切り替えられます。

クロマチックまたはスケール・レイアウトを変更する

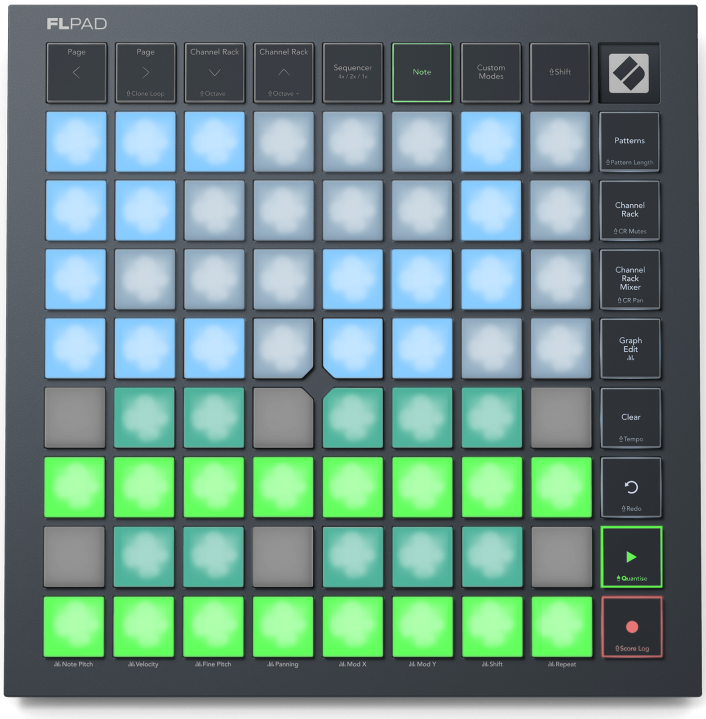
Note ボタンを押すことでパッドの下半分がクロマチック / スケール・レイアウトに交互に切り替わります。音程のあるインストゥルメントの演奏に最適です。

- クロマチック – 1 オクターブの 12 音すべてを一度に表示し、演奏できます。
- スケール – 選択したスケールに含まれるノートを演奏できます。スケールは、スケール設定メニュー（Shift + Note）で変更できます。

クロマチック・レイアウト

クロマチック・レイアウトに設定すると、下 4 列のパッドに、2 オクターブ分のクロマチック・ノートがピアノ配列で表示されます。

明るい緑色のパッドは白鍵、深緑色のパッドは黒鍵を表します。



Shift ボタンを押しながら Channel Rack ˄（上）および Channel Rack ˅（下）を押すと、現在のビューのオクターブを上下に切り替えられます。

スケール・レイアウト

スケール・レイアウトに設定すると、下 4 列のパッドが 4 オクターブ分の配列に切り替わります。選択したスケールのノートが各列に表示されます。

スケールのルート音のパッドは、ピンク色に点灯します。ルート音とスケールを変更する方法は、次項で解説します。



Shift ボタンを押しながら Channel Rack ˄（上）および Channel Rack ˅（下）を押すと、現在のビューのオクターブを上下に切り替えられます。

音階ルート音とスケールを変更する

スケール設定ビューを開くには、Shift ボタンを押しながら Note ボタンを押します。



スケール設定ビューでは、以下の 2 つの項目を設定できます：

- ルート音設定：ピンク色と青色のパッドがクロマチック配列で表示され、スケールのルート音を設定できます。現在のルート音は、ピンク色に点灯します (ルート音が C の場合、一番左と一番右のパッドがピンク色に点灯します)。明るい青色のパッドは、選択中のスケールに含まれるノートを表します。
- スケール – オレンジ色のパッドでスケールを選択します。選択中のスケールは白く点灯します。

選択可能なスケール：

- Minor (マイナー)
- Major (メジャー)
- Dorian (ドリアン)
- Mixolydian (ミクソリディアン)
- Phrygian (フリジアン)
- Harmonic Minor (ハーモニックマイナー)
- Minor Pentatonic （ マイナーペンタトニック)
- Major Pentatonic (メジャー・ ペンタトニック)

FPC レイアウト

左下の 16 個のパッドが、FPC インストゥルメントのレイアウトで表示されます。

FLpad のパッドの色は、FL Studio の FPC パッドの色に応じて変化します。



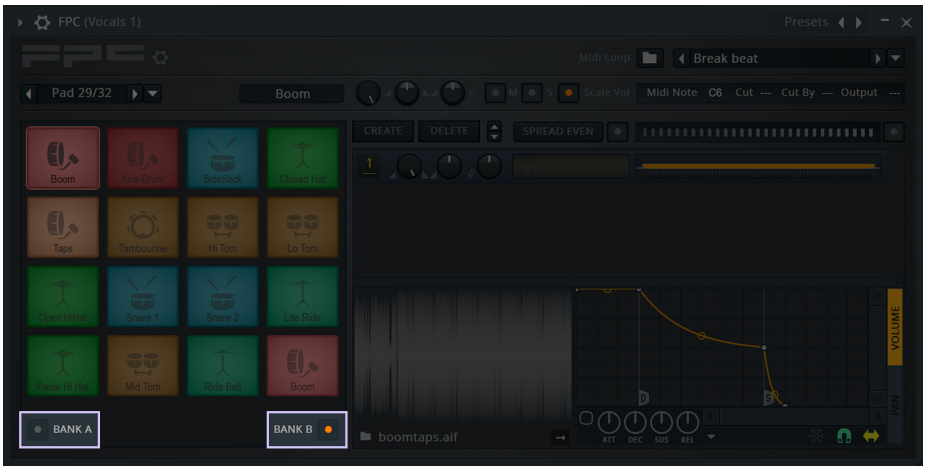


FL Studio の FPC インストゥルメントのパッド（左）と、FLpad の FPC ノート・ビュー（右）。FL Studio の FPC パッドの色に合わせて、本体のパッドが点灯します。

Shift ボタンを押しながら Channel Rack ˄（上）および Channel Rack ˅（下）を押すと、現在のビューのオクターブを上下に切り替えられます。

FPC 銀行

FL Studio の FPC には、16 個のサンプルからなるバンクが 2 つあります。 FLpadFPC ノートモードでは、左側の 16 個のパッドに FPC のバンク A、右側の 16 個のパッドにバンク B が表示されます。これにより、FPC 楽器のバンクをパッドから直接確認して演奏することができます。



Fruity Slicer レイアウト

Fruity Slicer レイアウトでは、下半分（最大 32 個）のパッドに、Fruity Slicer に読み込んだサンプルの各スライスが割り当てられます。

スライスが割り当てられているパッドは点灯します。パッドを使って各スライスを演奏して録音したり、手動でステップに配置することで、スライスしたサンプルから新しいシーケンスを作成できます。





Slicex レイアウト

Slicex レイアウトでは、下半分（最大 32 個）のパッドに、Slicex に読み込んだサンプルの各スライスが割り当てられます。

スライスが割り当てられているパッドは点灯します。パッドを使って各スライスを演奏して録音したり、手動でステップに配置することで、スライスしたサンプルから新しいシーケンスを作成できます。





FLpad のカスタムモードを使用する

Novation Components で設定を行うと、FLpad のエンコーダーやパッドからカスタムメッセージを送信できます。これらのカスタムメッセージ設定は、カスタムモードと呼ばれます。カスタムモードは、Shift ボタンを押しながら Custom パッドを押すことで有効にできます。

カスタムモードは、Custom Modes ボタンを押すことで有効にできます。

FLpad は、4 つのカスタムモードを利用できます。Custom Modes ボタンを押すたびに、カスタムモードが順番に切り替わります。



デフォルトのカスタムモード

FLpad には、FL Studio の便利な機能に簡単にアクセスできる、4 つのデフォルト・カスタムモードが搭載されています。これらのモードの内容は、自由に編集可能です。

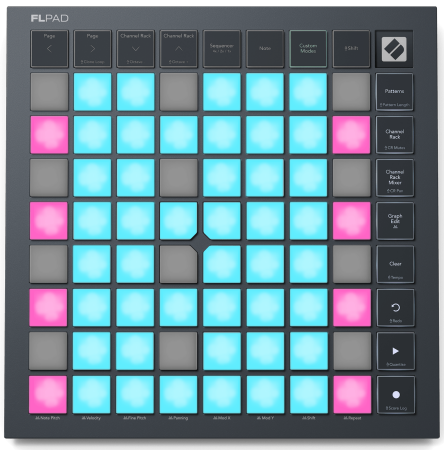
- カスタムモードのスロット 1 では、FL Studio の便利なキーストロークや Windows のキーボード・ショートカットを利用できます。macOS をお使いの場合は、Novation Components をご参照ください。



- カスタムモードのスロット 2 では、チャンネル 1~32 のミュートのオン / オフが行なえます。この機能を使用するには FL Studio の MIDI 設定で「Generator muting MIDI channel」を 8 に設定後、「Toggle on release」を有効にします。



- カスタムモードのスロット 3 では、4 オクターブのクロマチック・ノート・レイアウトを利用できます。



- カスタムモードのスロット 4 は、空のスロットです。独自のカスタムモードを Novation Components で作成し、本体に格納することができます。

FLpad のパターン・ビューを使用する

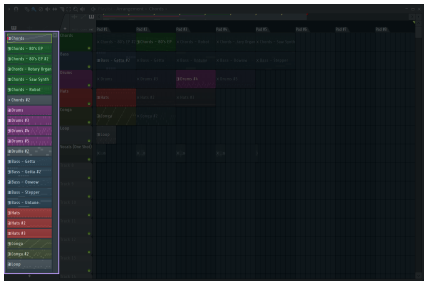
パターン・ビューを使うと、FL Studio プロジェクトに含まれるすべてのパターンにアクセスできます。パターンビューを開くには、Patterns ボタンを押します。

パターン・ビューでは、以下の操作が行なえます：

- パターンの変更 – パッドを押してパターンを選択し、シーケンサービューで編集できます。再生中のパターンを切り替えることもできます。
- 新規パターンの追加 – 空のパッドを押すと、新規パターンを作成できます。作成したパターンは、シーケンサー・ビューですぐに編集を開始できます。
- パターンの複製 – コピーしたいパターンを押したまま空のパッドを押すと、パターンを複製できます。
- パターンの消去 – Clear ボタンを押しながら目的のパターンを押すと、パターンを消去できます。

アクティブなパターンを変更する

パターン・ビューでは、FLpad の各パッドが、FL Studio の対応するパターンと同じ色で点灯します。





白く点灯するパッドは、そのパターンがアクティブ（選択中または再生中）であることを示します。

アクティブなパターンを変更するには、色付きで点灯しているパッドを押します。消灯しているパッドは空のパターンスロットです。FL Studio の再生中に空のパッドを押しても、そのパターンには何も含まれていないため、音は再生されません。

ヒント

パターンごとに色を設定すると、パッド上で各パターンを簡単に識別できます。

パターンの色を設定するには、FL Studio でパターンを右クリックし、「色の変更...」または「ランダム配色」を選択します。

新規パターンを追加する

1. パターン・ビューを開きます。
2. 空のスロット（パッドが消灯）を探します。
3. 空のパッドを押します。
4. FLpad から FL Studio にノートを入力します。FL Studio に新規パターンが作成されます。

別のパターンに変更すると、作成したスロットのパッドが点灯し、そのスロットにパターンがあることを確認できます。

パターンを複製する

パターン・ビューでは、パターンの複製も行えます。作成済みのパターンをベースに少し手を加えた新しいパターンを作りたい場合などに便利です。

FLpad でパターンを複製する操作は、FL Studio のプレイリストでパターンを右クリックし、「複製」を選択するの同じ操作です。

パターンを複製するには：

1. Pattern ボタンを押し、パターン・ビューを開きます。
   パターンが割り当てられているパッドが点灯します。
2. 複製したい元のパターンを押しながら、空のパッドを押します。
3. 両方のパッドから手を話します。

パターンが複製され、新しいパッドがアクティブになります。FL Studio の再生中にパターンを複製した場合は、新しいパターンに切り替わり、再生が続きます。

パターンを削除する

パターンをすばやく削除してスロットを空け、新しいパターンを一から作成できます。

パターンを削除するには：

1. Pattern ボタンを押し、パターン・ビューを開きます。



2. Clear ボタンを長押しします。



パターンが割り当てられたすべてのパッドが赤く点灯します。

3. Clear ボタンを押しながら、スロットから削除したいパターンのパッドを押します。



誤ったパターンを削除してしまった場合は、アンドゥ機能で削除を取り消すことも可能です。

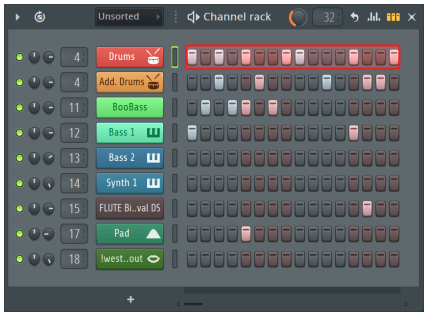
FLpad のチャンネルラック・ビューを使用する

FLpad のチャンネルラック・ビューでは、上半分の 32 パッドにシーケンスが表示されます。2x もしくは 1x ビューでは 1 つ、4x ビューでは 2 つのシーケンスを表示でき、下半分の 32 パッドには最大 32 のチャンネルラック・インストゥルメントが表示されます。

Channel Rack ^（上）および Channel Rack ˅（下）ボタンを使うと、インストゥルメント間を移動できます。

チャンネルラック・インストゥルメントを選択する

パッドを押すと対応するチャンネルが選択され、オーディオが再生されます。選択中のチャンネルラックに相当するパッドは白く点灯します。本体からは一度に 1 つのチャンネルを選択できます。





チャンネルラック・インストゥルメントを選択すると、FLpad にはそのチャンネルのシーケンスが表示されます（Sequencer 2x モードの場合は隣接するチャンネルも表示）。

チャンネルラックのステップを削除する

チャンネルラック・ビューでは、シーケンス内のステップをすばやくクリアし、パターンをリセットできます。

チャンネルラック・インストゥルメントのステップを削除するには：

1. Channel Rack ボタンを押して、チャンネルラック・ビューを開きます。
2. Clear ボタンを長押しします。
   上半分の 32 パッドが赤く点灯します：
   - 明るく点灯するパッドには、ステップが割り当てられています。
   - 薄く点灯するパッドには、ステップが割り当てられていません。
3. 明るい赤色に点灯するパッドを押すと、現在のパターン内にあるそのチャンネルラック・インストゥルメントのステップデータがすべてクリアされます。

チャンネルラックのクイックセレクト機能

チャンネルラック・ビューに一時的にアクセスし、別のチャンネルラック・インストゥルメントをすばやく選択できる機能です。

この機能を使用すると、シーケンサー・ビューやノート・ビューで作業中、チャンネルラック・インストゥルメントを効率的に切り替えることができます。

チャンネルラック· クイックセレクトを使用するには：

1. チャンネルラック· ビュー以外のビュー (シーケンサー· ビューやノート· ビュー) を開きます。
2. Channel Rack ボタンを押し続けます。
   FLpad のパッドが、チャンネルラック· ビューに切り替わります。
3. Channel Rack ボタンを押している間、チャンネルラック· インストゥルメントを変更したり、シーケンサーにステップを追加することができます。
4. Channel Rack ボタンから手を離します。
   パッドが Channel Rack ボタンを押す前の表示に復帰します。



クイックセレクトはどんなときに便利な機能？

- Sequencer 1x ビューを表示中、あるチャンネルラック· インストゥルメントのシーケンスを変更したくなったとします。通常であれば、Channel Rack ^ および Channel Rack ˅ ボタンを使用してインストゥルメントを切り替える必要がありますが、クイックセレクトを使用すれば、目的のチャンネルラックを素早く選択し、シーケンス変更後、元のビューに即座に戻ることができます。
- ノート· ビューを表示中にクイックセレクトを使用することで、ノートの送信先となるインストゥルメントを素早く選択したり、シーケンサーにステップを追加したりできます。変更後はノート· ビューに戻り、すぐに演奏を続けられます。

チャンネルラック· インストゥルメントをミュートする

チャンネルラック· ミュート (CR Mutes) ビューでは、チャンネルラック内のチャンネルをミュートできます。

チャンネルラックをミュートするには：

1. Shift ボタンを押しながら Channel Rack (CR Mutes) ボタンを押します。
   下半分の 32 パッドが、各チャンネルラックの色に点灯します。
2. 32 個のパッドからミュートを切り替えたいチャンネルラックのパッドを押します。明るい点灯するパッドはアクティブ (ミュートオフ) なチャンネル、暗い点灯するパッドはミュートされたチャンネルを示します。

FLpad のチャンネルラック· ミキサー· ビューを使用する

FLpad のミキサーには、2 種類のビューがあります：

1. チャンネルラック・ミキサーでは、各チャンネルラック・インストゥルメントのチャンネル・ボリュームを調整できます。
2. チャンネルラック・パンでは、各チャンネルラック・インストゥルメントのチャンネル・パンを調整できます。



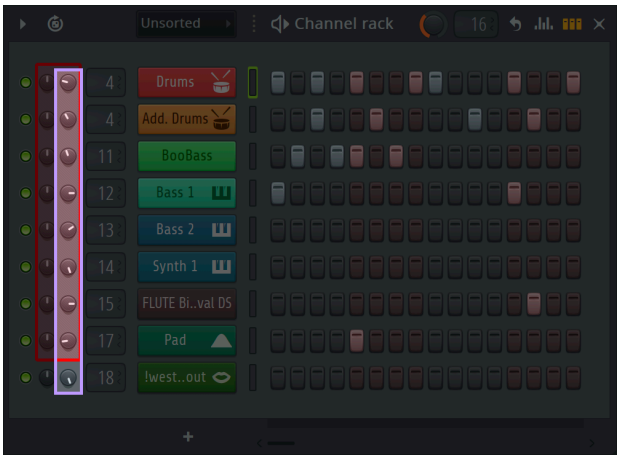
ヒント

FLpad のベロシティセンシティブ対応パッドを押す強さに応じて、ボリュームやパンが変化する速さをコントロールできます。

- 素早く変更するには、パッドを強く押してください。
- よりスムーズでゆっくりとした変化をするには、パッドを軽く押してください。

チャンネルラック・ミキサー・ボリューム

チャンネルラック・ミキサーでは、各チャンネルラック・インストゥルメントのチャンネル・ボリュームを調整できます。



FL Studio のチャンネルラックでチャンネル・ボリュームがハイライトされている様子

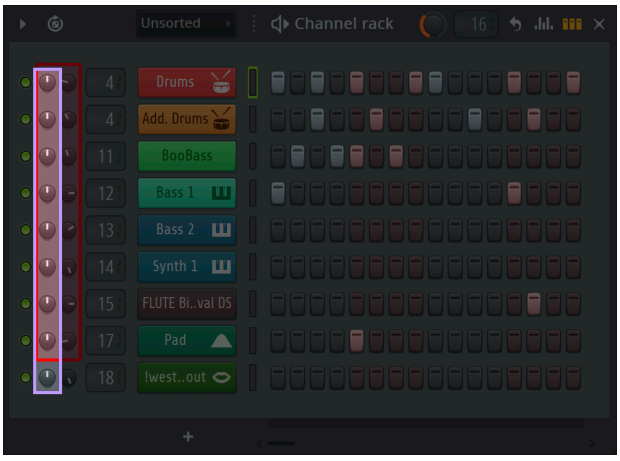
チャンネルラック・ミキサー・ビューでは、FLpad のパッド上にチャンネルラック・インストゥルメントが縦方向に並びます。ボリューム・レベルは左端をゼロとして右方向に表示され、各パッドは対応するチャンネルの色で点灯します。



チャンネルラックに 8 つ以上のインストゥルメントがある場合は、Channel Rack ˄（上）および Channel Rack ˅（下）ボタンでインストゥルメントを切り替えられます。

チャンネルラック・パン

チャンネルラック・パン（CR Pan）ビューでは、各チャンネルラック・インストゥルメントのパンを調整できます。



FL Studio のチャンネルラックでチャンネル・パンがハイライトされている様子

チャンネルラック· パン· ビューでは、FLpad のパッド上にパンが縦に並び、各チャンネルのパンが各行のパッドに表示されます。パッドは対応するチャンネルの色で点灯します。

パンを変更するには、目的の方向に応じてセンターから左または右のパッドを押します。センターの 2 つのパッドを同時に押すと、パンがリセットされます。

- センターの 2 つのパッドが点灯している場合、パンニングがセンター位置であることを示します。
- 左側のパッドが点灯している場合は、パンが左に振られていることを示します。
- 右側のパッドが点灯している場合、パンが右に振られていることを示します。



FLpad のトランスポート / ワークフロー· ボタンを使用する

FLpad の右下の 4 つのボタンは、FL Studio のトランスポートやワークフローをコントロールします。

Tempo ボタン (BPM / スイング· ビュー)

テンポ· ビューを開くには、Shift ボタンを押しながら Clear (Tempo) ボタンを押します。



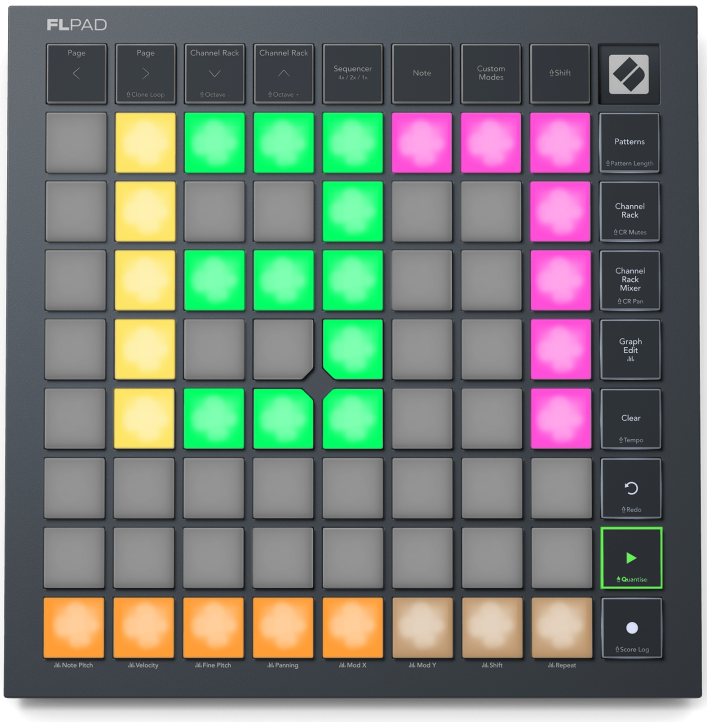
Shift ボタンを押しながら Clear ボタンを押すと、BPM / スイングビューが表示されます。

パッドの上部には、FL Studio のテンポが BPM 表示されます。一番下のパッド列で、チャンネルラックのメインスイングを調整できます。

テンポは、Channel Rack ˄（上）および Channel Rack ˅（下）ボタンで変更できます。

パッドが表示できる BPM は 10～299 ですが、299 を超える BPM にも設定できます。その場合、設定した BPM は FL Studio のツールバーに表示されます。

メインスイングの調整は、最下段のパッドで行います。左から右に向かって、スイング量を 0%から 100%まで設定できます。メインスイングは、ビートに人間らしいグルーヴを加えるための FL Studio のグローバル・パラメーターです。



テンポ 137、スイング 55%に設定された様子

再生ボタン

FLpad の再生ボタンを押すと、FL Studio がパターンモードとソングモードのどちらに設定されている場合でも、再生が開始されます。



録音ボタン

FLpad の録音ボタンを押すと、FL Studio がパターンモードとソングモードのどちらに設定されている場合でも、録音待機状態になります。


FLPAD
Page
Page
Channel Rack
Channel Rack
Sequencer
Note
Custom Modes
Shift
Patterns
Channel Rack
Channel Rack Mixer
Graph Edit
Clear
Redo
Quantize
Score Log

の [設定] メニュー

の設定とセットアップメニューでは、さまざまな面でプリファレンスを設定できます。LED、ベロシティ、アフタータッチ、フェーダーの 4 ページがあります

設定メニューを開くには、Sequencer ボタンを長押しします。右側上部の 4 つのボタンは、現在のページを示します。ボタンを押すと、設定ページを切り替えることができます。



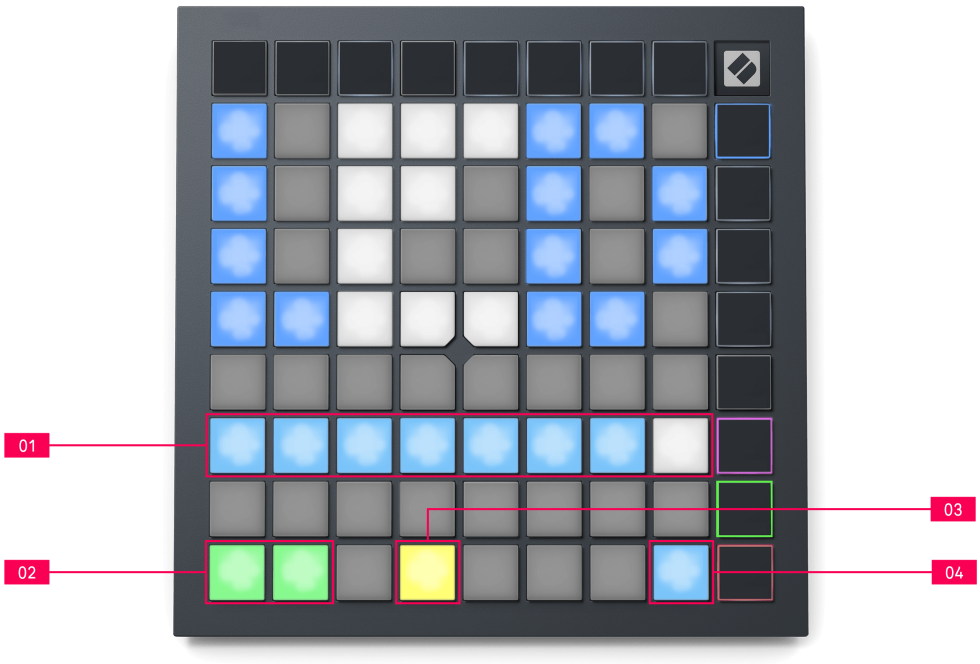
利用できる設定ページは以下の通りです：

1. 導かれた
2. 速度
3. アフタータッチ
4. フェーダー

LED 設定

パッドとボタンの点灯に関する設定を行います。

1. 上から 6 行目のパッドでは、LED の輝度を左端の最低値から右端の最高値まで 8 段階で調整します。明るく点灯しているパッドが、現在の輝度レベルを示します。
2. 上から 8 行目の左端にある 2 つのパッドで、LED フィードバックのオン / オフを切り替えます。
    - 左側の LED フィードバックパッド (内部) は、カスタムモードでパッドを押したときに点灯するかどうかを設定します。明るい緑色は LED フィードバックが有効であることを示し、暗い赤色は無効であることを示します。この設定はデフォルトで有効になっています。
    - 右側の LED フィードバックパッド (外部) は、MIDI を送信したときにパッドが点灯するかどうかを設定します。 FLpad カスタムモードでは、明るい緑色は LED フィードバック (外部) が有効になっていることを示し、暗い赤色は無効になっていることを示します。この設定はデフォルトで有効になっています。
3. 8 行目の左から 4 つ目のパッドは、MIDI デスティネーションを設定します。パッドが明るく点灯している場合は、両方の USB MIDI ポートに MIDI データが送られます。パッドが暗く点灯している場合は、2 番目の USB MIDI ポートにのみ MIDI データが送られます。DAW モードでは、ノートデータやカスタムデータが最初の USB MIDI ポートに送られないため、この設定は適用されません。
4. 8 行目の右端のパッドは、LED スリープ機能のオン / オフを切り替えます。この機能をオンにすると、すべてのパッドが消灯します。いずれかのパッドまたはボタンを押すと、パッドが点灯し、FLpad の使用を再開できます。FLpad を使用していないときに、接続したまま LED だけ消しておきたい場合に便利な機能です。



LED とは何ですか？

LED（発光ダイオード）とは、光を発する電気部品のことです。

パッドやボタンに組み込んだ LED の発光色を制御することで、さまざまな機能やステータスを色で分かりやすく表示できます。

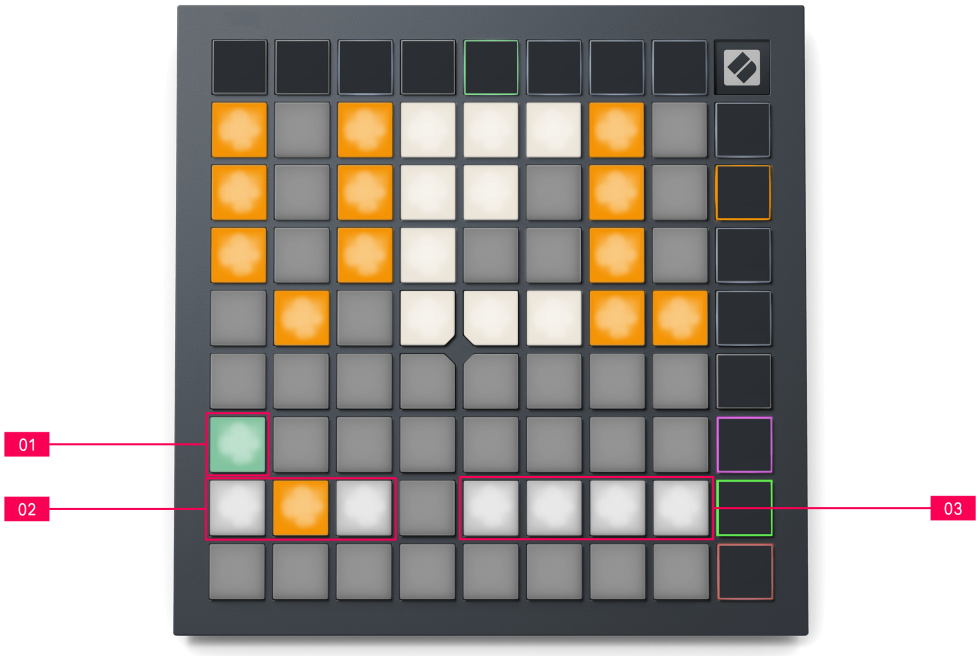
ベロシティ設定

ベロシティ設定（VEL）では、パッドのベロシティ感度とカーブを調整できます。

1. 6 行目の一番左にある緑色のパッドは、パッドのベロシティのオン / オフを設定します。オフにすると、パッドを押したときのベロシティは常に最大値（127）で出力されます。オンの場合はパッドが明るい緑色に、オフの場合は暗い赤色に点灯します。
2. ベロシティがオンの場合は、7 行目の左側 3 つのパッドで、3 種類のベロシティカーブ（低、中、高）を選択できます。

   低速設定では高速値を出すために大きな力が必要となり、高速設定では高速値を出すために小さな力で済みます。選択された曲線は明るいオレンジ色に点灯し、その他の曲線は薄暗い白色に点灯します。
3. 7 行目の右側 4 つのパッドでは、パッドのトリガー・スレッショルドを設定できます。設定値は左から右に向かって高くなります。

   設定値が低いほど、パッドを作動させるのに必要な圧力は少なくて済み、設定値が高いほど、パッドを作動させるのに必要な圧力は大きくなります。



アフタータッチ設定

アフタータッチ設定 (AFT) では、アフタータッチに関する設定、つまり、パッドをトリガーした後にパッドに加えた圧力に関連して送信されるデータを調整できます。

1. 最初の 3 つのパッドはアフタータッチを有効にするかどうかを選択します。
    - 無効 – 最初のパッドでアフタータッチのオン/オフを切り替えます。
    - チャンネルプレッシャー – 現在の MIDI チャンネル上のすべてのノートに対して、同じメッセージが送信されます。
    - ポリフォニックプレッシャー – 各音符 (パッド) に独立したアフタータッチがあり、各音符を個別に操作できます。
2. アフタータッチ設定の 2 行目では、アフタータッチのしきい値を低、中、高のいずれかに設定します。

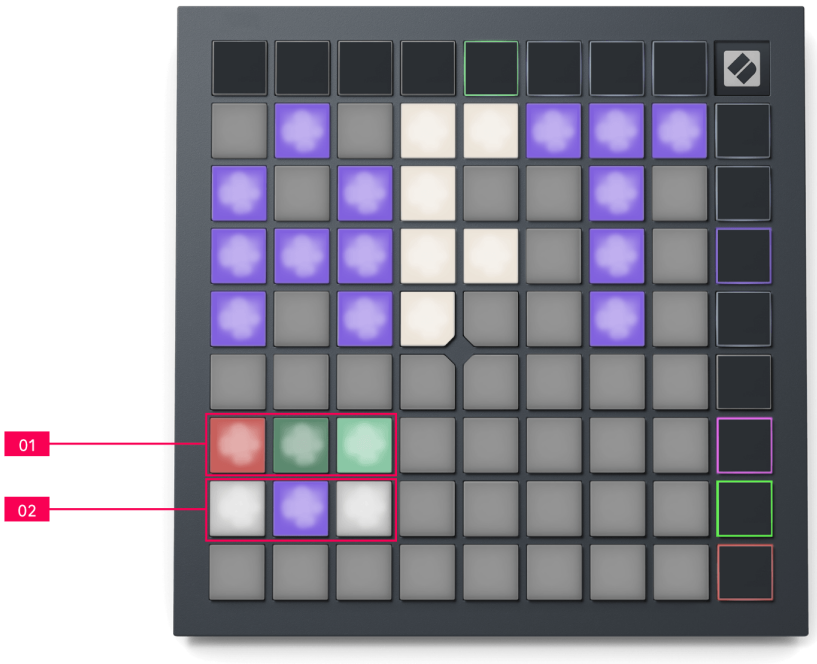
    低設定ではアフタータッチを有効にするのに必要な力は小さく、高設定ではより強い力が必要です。選択されたしきい値は明るい紫色に点灯し、その他のしきい値は薄暗い白色に点灯します。



FL STUDIO はポリフォニック・アフタータッチに対応しますか？

FL Studio は、モノフォニックのチャンネル・アフタータッチをフルサポートしますが、ポリフォニック・アフタータッチおよび MPE には対応しません。ポリフォニック・アフタータッチ・データは、チャンネル・アフタータッチ・データに変換されます。

FLpad のパッドはカスタムモードでアフタータッチ・データを送信でき、FL Studio 以外のソフトウェアやアフタータッチ対応ハードウェアをコントロールできます。


01
02

フェーダー設定

フェーダー設定（FAD）では、フェーダー表示の速度感度を調整できます。

1. フェーダーの速度感度をオン/オフできます。緑色はオン、赤色はオフです。
   フェーダーベロシティがオンになっている場合、パッドを押す強さに応じてフェーダーの位置が変わります。
   - 素早く変更するには、パッドを強く押してください。
   - よりスムーズでゆっくりとした変化をするには、パッドを軽く押してください。



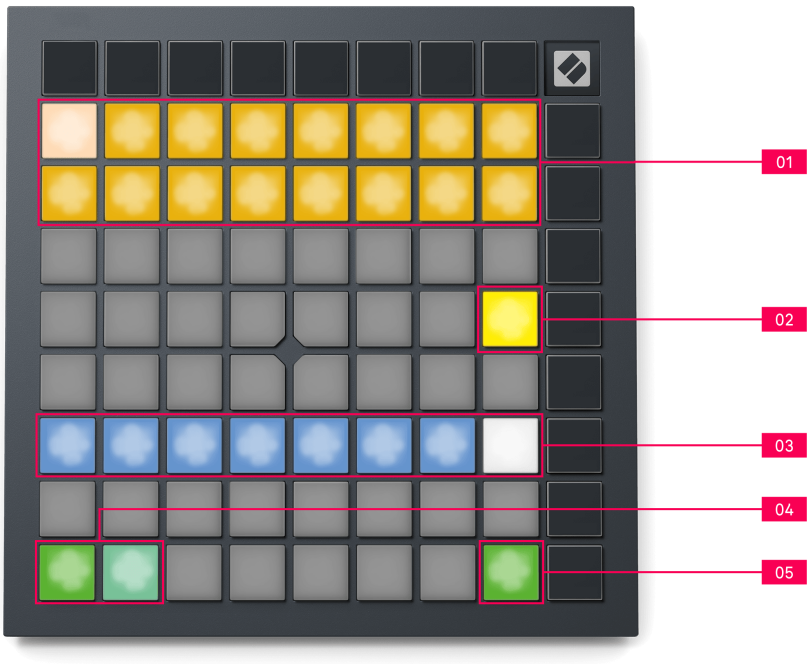
ブートローダーメニュー

ブートローダーメニューでは、起動前に設定する必要のある設定を変更できます。 FLpad 起動しました、またはグローバル設定。

ブートローダーメニューに入るには、接続時に Shift キーを押しながら操作してください。 FLpad。

ブートローダーメニューで設定できる項目は以下のとおりです。

1. **デバイス ID** 複数使用できます。 Ableton Live を搭載したユニットを一度に。それぞれに異なる ID が選択されている場合 それぞれに独自のセッションリング (グリッドアウトライン) があるため、ライブセッションを個別にナビゲートできます。
   各 ID が異なる場合 FLpad それぞれが独立してナビゲートするための独自のセッションリング (グリッドのアウトライン) を持っています。
2. **MSD モード** 大容量記憶装置デバイスの動作を切り替えます オンまたはオフ。MSD モードはデフォルトで有効になっています。これが理由です。 コンピューターに接続すると、大容量記憶装置として表示されます。内部 フォルダにはイージースタートツールへのリンクがあり、簡単にセットアップできます (「」を参照) 起動と実行)。セットアップが完了したら もう大容量記憶装置として表示したくないかもしれません。このトグルを使うと、この動作が完全に無効になります。パッドが明るく点灯しているときは MSD モードが有効になり、無効になると薄暗く点灯します
3. 上から 6 行目のパッドでは、LED の輝度を左端の最低値から右端の最高値まで 8 段階で調整します。明るく点灯しているパッドが、現在の輝度レベルを示します。
4. の FLpad のファームウェアは、ブートローダーとアプリケーションの 2 つの部分に分かれています。
   左側のパッドを押すと、ブートローダーのバージョン番号がパッドに表示されます。右側のパッドを押すと、アプリケーションのバージョン番号がパッドに表示されます。
5. 右下の緑色のパッドがあなたの FLpad これで、すぐに使用できます。


01
02
03
04
05

その他の情報

商標

Novation の商標は Focusrite Audio Engineering Ltd.の所有物です。本マニュアルに記載されているその他すべてのブランド名、製品名、会社名、およびその他の商標登録または商標は、それぞれの所有者に帰属します。

免責事項

Novation は、本マニュアルに記載されている情報が正確で完全であることに万全を期しております。本マニュアルまたは記載されている機器の使用に起因する機器、第三者または機器の所有者に対する損失または損害について、Novation はいかなる場合も責任を負いません。本マニュアルに記載されている情報は、予告なしに変更される場合があります。仕様および外観は、リストおよび例示されているものとは異なる場合があります。

著作権および法定通知

Novation は Focusrite Group PLC の登録商標です。FLpad は Focusrite Group PLC の商標です。

その他すべての商標および商品名はそれらの個別の所有者に帰属します。

2026 © Focusrite Audio Engineering Limited. 無断転用禁止。

FLpad クレジット

Novation は、本製品のために尽力してくれた以下の FLpad チームメンバーに感謝いたします。

アーロン・マーシャル、アダム・ブリファ、アレックス・ゴッドフリー、ベン・ベイツ、クリス・グレイブス、コナー・ボイド、ダン・ミッチェル、ダン・スティーブンス、ダニエル・ブラッドリー、エド・フライ、エディ・ジャッド、エマ・デイビス、ガガン・ムダール、ギャビン・ギャンブル、ハンナ・バドワース、ハサン・サイード、ジャック・コール、ジェイク・ヘルプス、ジェイソン・チャン、カイ・ヴァン・ドンゲン、ラース・ヘニング、ローラ・ムレサン、ロズ・ジャクソン、マリオ・ブオニンファンテ、マット・ワトソン、ネイト・シェリー、パディ・クラウチャー、ポール・マンセル、ピート・カース、ピエール・ルイス、リチャード・コラード、ライアン・グレイ、ウェイド・ドーソン、ウィル・チャールトン、ウィル・ホルト

執筆：Ed Fry